

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成24年5月17日 (2012.5.17)

【公開番号】特開2002-90488(P2002-90488A)

【公開日】平成14年3月27日 (2002.3.27)

【出願番号】特願2001-184173(P2001-184173)

【国際特許分類】

G 2 1 C 7/00 (2006.01)

G 2 1 C 5/00 (2006.01)

G 2 1 C 7/113 (2006.01)

【F I】

G 2 1 C 7/00 G D B B

G 2 1 C 5/00 A

G 2 1 C 7/10 J

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年3月21日 (2012.3.21)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 7】

図 4 を参照して、本発明の 1 つの実施形態に従い、また上記で確認された大型燃料バンドル 8 0 に関連する問題に苦慮することなく、制御棒及び制御棒駆動装置を減少させる利点を得るために、実質的に標準の大きさの燃料バンドル 3 6 及び大型制御棒 7 6 が炉心 2 2 で用いられる。具体的に言えば、原子炉炉心 2 2 は、大型制御棒 7 6 及び従来の大きさの燃料バンドル 3 6 を含む。各大型制御棒 7 6 は、16 個の従来の大きさの燃料バンドル 3 6 に対して毒物質制御を施すような寸法に作られる。従来の大きさの燃料集合体 3 6 及び大型制御棒 7 6 は、F 格子構成 9 4 に配置されて、制御棒駆動装置及び制御棒の数を極力少なくするのを助ける。F 格子構成 9 4 は、各大型制御棒 7 6 を囲繞する 16 個の従来燃料バンドル 3 6 を備える 互い違いの配列 9 6 になった大型の制御棒 7 6 を有する。